

# ARP ODYSSEY

DUOPHONIC SYNTHESIZER



取扱説明書

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
ODYSSEYとは.....	3
おもな特長.....	3
ARP ODYSSEi ブロック図.....	4
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>5</b>
スケール一覧.....	8
<b>パラメーター・ガイド</b> .....	<b>9</b>
シンセ・エディット・ページ.....	9
VOICES セクション.....	10
VCO-1 セクション.....	11
VCO-2 セクション.....	13
LFO、S/H MIXER、SAMPLE AND HOLD セク ション.....	14
AUDIO MIXER、VCF、HPF、VCA セクション.....	16
.....	16
ENVELOPE GENERATOR セクション.....	18

アルペジエーター / エフェクター・ページ.....	19
.....	19
アルペジエーター.....	20
エフェクター.....	22
マスター・レベル.....	25

<b>データのセーブ、ロード</b> .....	<b>26</b>
内部メモリーへのセーブ.....	26
内部メモリーからのロード.....	26

<b>おもな仕様</b> .....	<b>27</b>
--------------------	-----------

<b>サポート・サービスのご案内</b> .....	<b>28</b>
----------------------------	-----------

\* Apple、iPad、iPhone、iPod touch、iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

\* その他すべての商品名または規格名は関係各社の商標または登録商標です。

# はじめに

このたびは、ARP ODYSSEYをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

## ODYSSEY とは

ODYSSEY は、1972 年から 1981 年頃まで ARP 社の代表製品として製造されました。

製造された時期により、大きく分けて 3 つのバージョンがあることで知られ、見た目以外にも音質や機能にも違いがあります。

Model2800 は Rev.1 と言われ、1972 年から 1974 年頃まで製造された初期モデルの白パネルと、1974 年から 1975 年頃まで製造された黒パネルがあります。

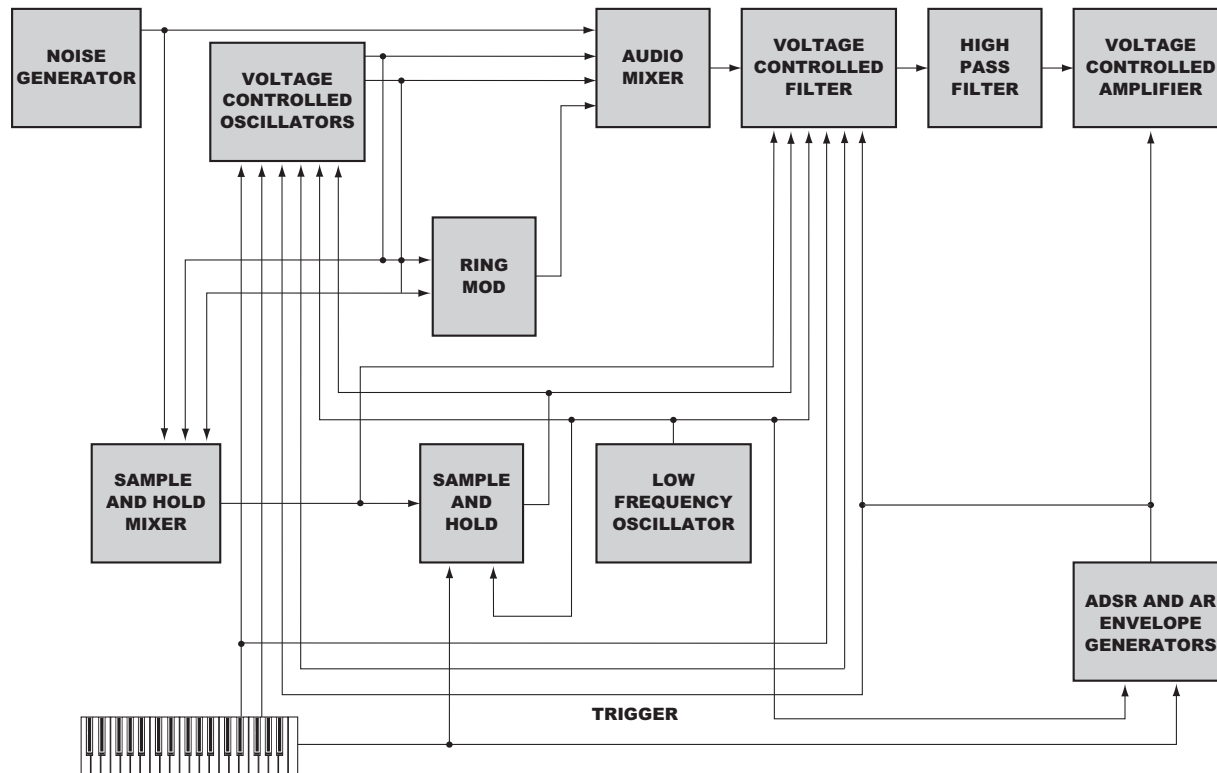
Model2810 ~ 2813 は Rev.2 と言われ、1975 年から 1976 年頃まで製造された黒パネルになります。フィルターも変更が加えられ、オシレーターを変更したものもあります。また、外部オーディオ入力と CV/GATE 入力端子が加えられたり、後期モデルはノブによるピッチ・ベンダーから PPC (プロポーションナル・ピッチ・コントロール) に変更されました。

Model2820 ~ 2823 は Rev.3 と言われ、1978 年から 1981 年頃まで製造されました。黒にオレンジのシルクが入ったパネルとなり、デザインのにも Model2800 ~ 2813 から大きく変更されました。音声出力も RCA/PHONE から XLR/PHONE に変更されました。

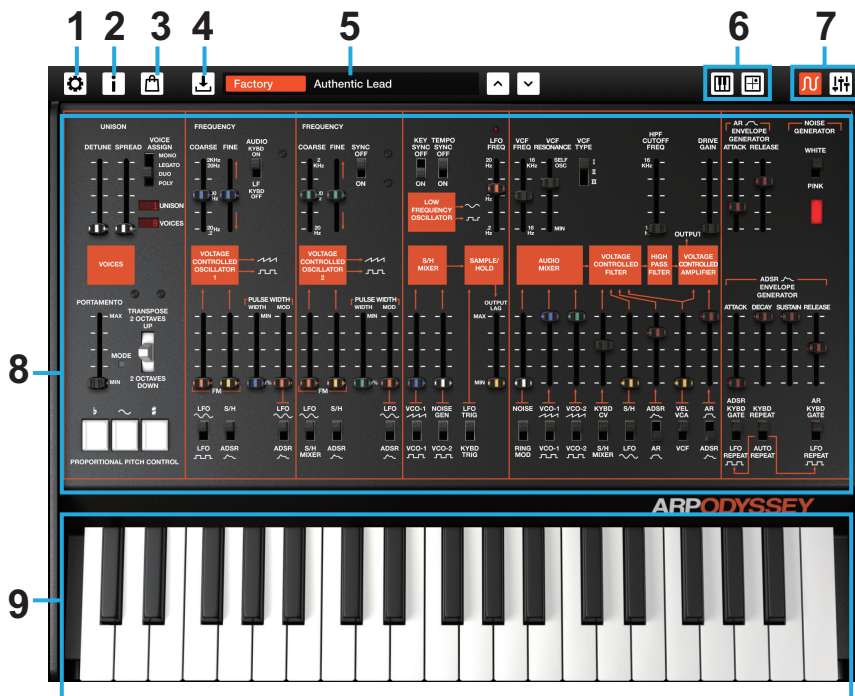
## おもな特長

- ・ 伝統的な ARP ODYSSEY の VCO、VCF、VCA を再現。柔軟で即興性の高いシンセシスが可能。
- ・ モノフォニック、デュオフォニック、ポリフォニックの各モードを搭載。デュオフォニックは鍵盤を 2 つ同時に押しとオシレーターが別々の音程で発音し、ポリフォニックはトータル・ボイスで設定したボイス分の演奏が可能。(ただしフィルターとアンプは 1 系統)
- ・ エンベロープ・ジェネレーターは、ADSR タイプと AR タイプの 2 種類を搭載。
- ・ 高音も倍音が多く、シャープで定評のある効きのよいオシレーター・シンクを搭載。
- ・ 豊富なモジュレーションのかけ方が可能。
- ・ 2 種類のノイズ・タイプを搭載。
- ・ LFO、S&H を搭載し、スイッチ切り替えでルーティングが可能。
- ・ 3 タイプの ARP ODYSSEY のフィルターを搭載し、スイッチひとつで切り替え可能。
- ・ ステップ・シーケンサーのように細かなプログラムが可能なアルペジエーター、サウンドを多彩に変化させる 7 種類のエフェクターを新たに搭載。
- ・ 外部シーケンサーなどから MIDI クロックを受信して LFO、アルペジエーターなどのテンポ・シンクが可能。

## ARP ODYSSEI ブロック図



# 各部の名称と機能



## 1.SETTINGS ボタン

Bluetooth MIDI、グローバル MIDI チャンネルなどの設定を行います。

## 2.INFO ボタン

INFO ボタンを押すと、ARP ODYSSEi のバージョンを表示します。その他にマニュアルや FAQ のヘルプ情報や最新の情報などが表示されます。

**Manual:** 取扱説明書を表示します。

**FAQ:** KORG app Help Center を表示します。

**note** 取扱説明書、KORG app Help Center を表示するためには、インターネットに接続する必要があります。

## 3. Store ボタン

Rev.1 と Rev.2 のスキン、プリセット・プログラムの購入画面を表示します。

**note** 購入画面を表示させるには、インターネットに接続する必要があります。

## 4. FILE ボタン

エディットまたは作成したデータのセーブ、ロードを行います。

→ 26 ページ「データのセーブ、ロード」


## 5. プログラム・ネーム

プログラムの名前が表示されます。

名前をタップすると、プログラムが切り替わります (→ 26 ページ「データのセーブ、ロード」)。

## 6. コントローラー・スイッチ

オクターブ変更が可能なホイール付き鍵盤と、XY パッドを使った演奏モードを表示します。

: フルサイズ鍵盤



### BEND (ピッチベンド・ホイール)

ARP ODYSSEi が発音するピッチをコントロールします。

### VIBRATO (モジュレーション・ホイール)

演奏しながら連続的にピッチ・モジュレーションをかけることができます。

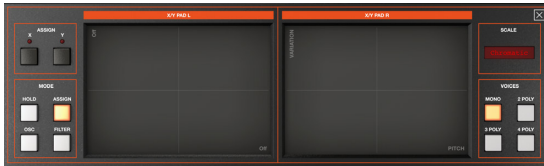
### OCTAVE +、- ボタン

演奏するキーボードの音域を設定します。

### ボタン

フルサイズ鍵盤を閉じます。

## XY パッド



X 方向 ( 横方向 ) と Y 方向 ( 縦方向 ) に設定されているパラメーターをパッドをドラッグすることで操作します。音を鳴らしたり、パラメーターを変化させることができます。たとえば、右側の XY パッドを横にドラッグさせると音程が変化し、縦にドラッグさせると音の長さを変化させて演奏することができます。

### ASSIGN X ボタン

このボタンをオンにして X にパラメーターをアサインします。

### ASSIGN Y ボタン

このボタンをオンにして Y にパラメーターをアサインします。

### MODE ボタン

..... [HOLD, ASSIGN, OSC, FILTER]

左側のパッドでコントロールするパラメーターを選択します。

**HOLD** : オンにすると左側のパッドでコントロールした状態を指を離しても維持します。

### XY PAD L (左)

X と Y に、シーケンサーでコントロールする任意のパラメーターを設定します。「MODE」で X と Y それぞれのパラメーターを設定します。

### XY PAD R (右)

X に NOTE、Y に GATE があらかじめ設定されています。「SCALE」でキーとスケールを設定することができます。

「VOICES」で MONO 以外に設定した場合は、コード演奏が可能です。

### SCALE ボタン

右側のパッドを操作して発音するノートのキーとスケールを設定します。(→ 8 ページ「スケール一覧」)

### VOICES

..... [MONO, 2 POLY, 3 POLY, 4 POLY]


右側のパッドで発音するノートの発音数を設定します。2POLY ~ 4POLY に設定して和音を発音するときは、Y 軸で和音の転回をコントロールできます。


### ボタン

XY パッドを閉じます。

## 7. Page Select スイッチ

シンセ・エディット・ページとアルペジエーター / エフェクター・ページを切り替えます。

 : シンセ・エディット・ページが表示されます。  
→ 9 ページ「シンセ・エディット・ページ」

 : アルペジエーター / エフェクター・ページが表示されます。  
→ 19 ページ「アルペジエーター / エフェクター・ページ」

## 8. エディット・エリア

各エディット・ページで表示されるパラメーターをエディットします。各コントローラーやパラメーターをタップして、コントローラーやパラメーターを選択し、値を変えることができます。(→ 9 ページ「パラメーター・ガイド」)

## 9. 鍵盤

鍵盤をタップして、ノートを発音します。鍵盤をドラッグするとグリッサンドします。

# スケール一覧

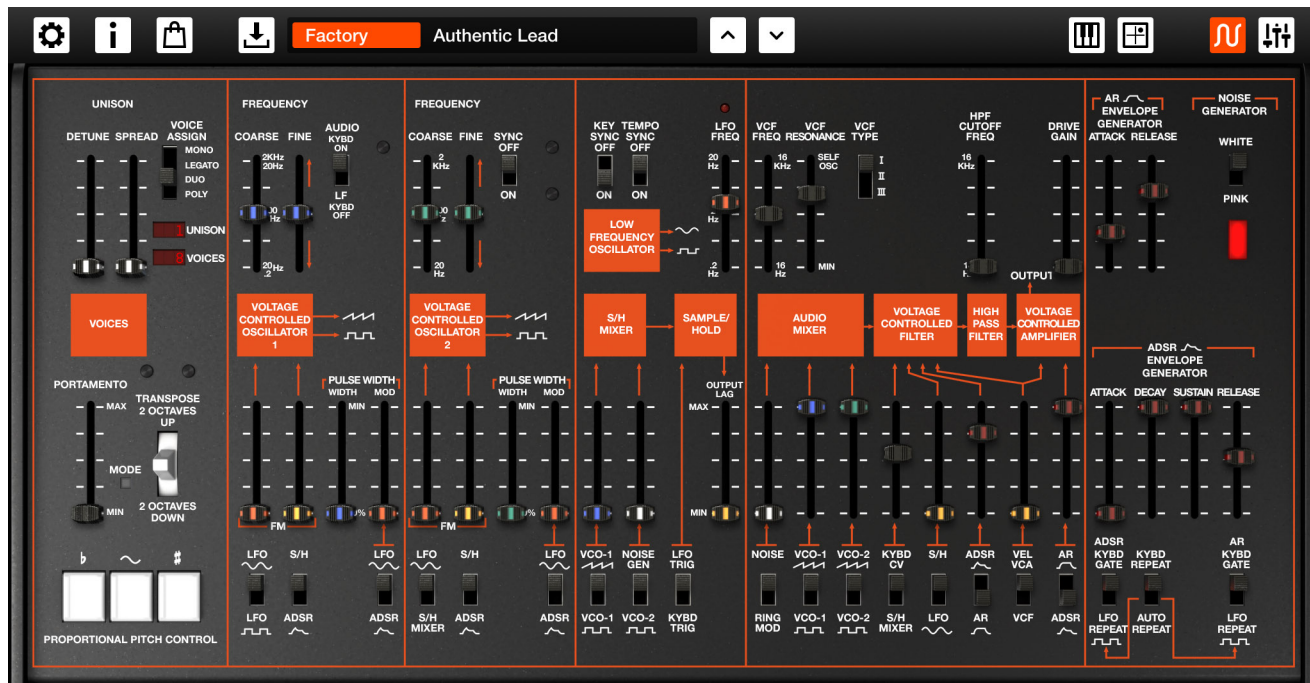
	スケール名	スケール：キーがCの場合
1	Chromatic	C, D <sub>♭</sub> , D, E <sub>♭</sub> , E, F, G <sub>♭</sub> , G, A <sub>♭</sub> , A, B <sub>♭</sub> , B
2	Ionian	C, D, E, F, G, A, B
3	Dorian	C, D, E <sub>♭</sub> , F, G, A, B <sub>♭</sub>
4	Phrygian	C, D <sub>♭</sub> , E <sub>♭</sub> , F, G, Ab, B <sub>♭</sub>
5	Lydian	C, D, E, G <sub>♭</sub> , G, A, B
6	Mixolydian	C, D, E, F, G, A, B <sub>♭</sub>
7	Aeolian	C, D, Eb, F, G, Ab, B <sub>♭</sub>
8	Locrian	C, D <sub>♭</sub> , E <sub>♭</sub> , F, G <sub>♭</sub> , A <sub>♭</sub> , B <sub>♭</sub>
9	minor Harmo	C, D, E <sub>♭</sub> , F, G, A <sub>♭</sub> , B
10	minor Melod	C, D, E <sub>♭</sub> , F, G, A, B
11	Major Blues	C, D, E <sub>♭</sub> , E, G, A
12	minor Blues	C, E <sub>♭</sub> , F, G <sub>♭</sub> , G, B <sub>♭</sub>
13	Diminish	C, D, E <sub>♭</sub> , F, G <sub>♭</sub> , A <sub>♭</sub> , A, B
14	Com.Dim	C, D <sub>♭</sub> , E <sub>♭</sub> , E, G <sub>♭</sub> , G, A, B <sub>♭</sub>
15	Major Penta	C, D, E, G, A
16	minor Penta	C, E <sub>♭</sub> , F, G, B <sub>♭</sub>
17	Raga 1	C, Db, E, F, G, A <sub>♭</sub> , B
18	Raga 2	C, D <sub>♭</sub> , E, G <sub>♭</sub> , G, A, B
19	Raga 3	C, D <sub>♭</sub> , E <sub>♭</sub> , G <sub>♭</sub> , G, A <sub>♭</sub> , B

	スケール名	スケール：キーがCの場合
20	Arabic	C, D, E, F, G <sub>♭</sub> , A <sub>♭</sub> , B <sub>♭</sub>
21	Spanish	C, D <sub>♭</sub> , E <sub>♭</sub> , E, F, G, A <sub>♭</sub> , B <sub>♭</sub>
22	Gypsy	C, D, E <sub>♭</sub> , G <sub>♭</sub> , G, Ab, B
23	Egyptian	C, D, F, G, B <sub>♭</sub>
24	Hawaiian	C, D, E <sub>♭</sub> , G, A
25	Bali Pelog	C, D <sub>♭</sub> , E <sub>♭</sub> , G, A <sub>♭</sub>
26	Japanese	C, D <sub>♭</sub> , F, G, A <sub>♭</sub>
27	Ryukyu	C, E, F, G, B
28	Chinese	C, E, G <sub>♭</sub> , G, B
29	Bass Line	C, G, B <sub>♭</sub>
30	Wholetone	C, D, E, G <sub>♭</sub> , A <sub>♭</sub> , B <sub>♭</sub>
31	minor 3rd	C, E <sub>♭</sub> , G <sub>♭</sub> , A
32	Major 3rd	C, E, A <sub>♭</sub>
33	4th	C, F, B <sub>♭</sub>
34	5th	C, G
35	Octave	C



# パラメーター・ガイド

## シンセ・エディット・ページ



## VOICES セクション



### UNISON DETUNE スライダー

.....[0.00...10.00]

UNISON を複数の音に設定してユニゾンで発音させたときに、同時に発音する音をデチューン（音程をずらす）させます。UNISON が “1”（単音）の場合は無効になります。

### UNISON SPREAD スライダー

.....[0.00...10.00]

UNISON を複数の音に設定してユニゾンで発音させたときに、各ボイスの出力を L チャンネルと R チャンネルに振り分けます。UNISON の設定が奇数の場合は 1 ボイスだけはセンターに定位します。

### VOICE ASSIGN スイッチ

.....[MONO, LEGATO, DUO, POLY]

発音の仕方を設定します。

**MONO**：モノフォニックで発音します。

**LEGATO**：モノフォニックで発音します。鍵盤を押したまま、2 回目以降の打鍵時に EG をリトリガーしません。

**DUO**：デュオフォニック（2 音）で発音します。

**POLY**：ポリフォニックで発音します。

### UNISON（ユニゾン・ボイス）

..... [1...16]

ユニゾンで発音するボイスの数を設定します。最大発音数は VOICE（トータル・ボイス）の設定に依存します。

ユニゾンは、VCO1 と VCO2 の出力をミックスした音を、ここで設定した数で同時に発音します。

### VOICES（トータル・ボイス）

..... [1...32]

VOICE ASSIGN スイッチで “POLY” に設定したときと UNISON の最大同時発音数を設定します。

## PORTAMENTO スライダー (ブラック)

..... [MIN...MAX]

ポルタメント効果のかかり方（音程の移行する時間）を設定します。  
スライダーを“MIN”の位置にすると、ポルタメント効果はかかりません。スライダーを“MAX”の位置に近づけていくと、音程の移行する時間が長くなります。

## MODE スイッチ

..... [ON, OFF]

TRANPOSE レバーを操作したとき、ポルタメントを有効にするか無効にするかを選択します。

## TRANPOSE レバー

..... [2 OCTAVES UP, 0, 2 OCTAVES DOWN]

鍵盤に割り当てられている音域を2オクターブ単位で切り替えます。

## PROPORTIONAL PITCH CONTROL - $\flat$ パッド

押した強さに応じて音程が下がります。

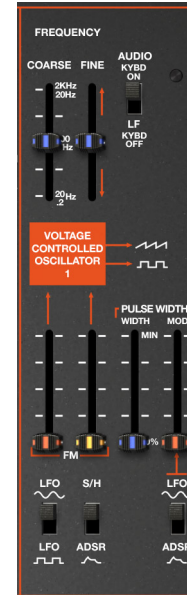
## PROPORTIONAL PITCH CONTROL - $\sim$ パッド

押した強さに応じてビブラートがかかります。

## PROPORTIONAL PITCH CONTROL - $\sharp$ パッド

押した強さに応じて音程が上がります。

## VCO-1 セクション




## FREQUENCY COARSE スライダー (ブルー)

..... [20(0.2)Hz...2K(20)Hz]

ピッチをおおまかに調整します。

キーボード・スイッチがオンのときは 20Hz ~ 2KHz、オフのときは 0.2Hz ~ 20Hz の範囲で調整可能です。

 周波数範囲 (20Hz ~ 2KHz) はおおよその数値です。

### FREQUENCY FINE スライダー (ブルー)

.....[±400cent]

ピッチを微調整します。

### キーボード・スイッチ

.....[AUDIO KYBD ON, LF KYBD OFF]

AUDIO KYBD ON にすると VCO-1 は鍵盤 CV に接続され、通常の音階を発振します。LF KYBD OFF にすると鍵盤 CV から切断され LFO として発振します。この信号で VCO-2 を変調したり、効果音の音源ソースとして使用できます。

### FM デプス・スライダー (ピンク)

### FM デプス・スライダー (イエロー)

FM (フリーケンシー・モジュレーション: 周波数変調) をかけたときの深さを調節します。

### PULSE WIDTH (WIDTH) スライダー (ブルー)

.....[50%...MIN]

パルス幅を調節します。

### PULSE WIDTH (MOD) スライダー (ピンク)

パルス・ウィズ・モジュレーション (パルス幅変調) のかかり具合を調節します。

### FM ソース・スイッチ

.....[LFO , LFO  ]

LFO によるモジュレーションの波形を選択します。

### FM ソース・スイッチ

.....[S/H, ADSR  ]

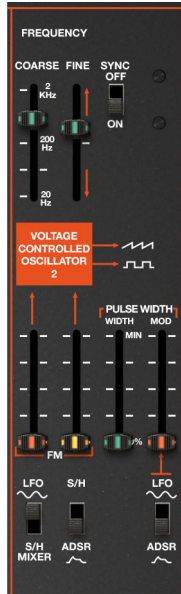
サンプル・アンド・ホールドまたはエンベロープ・ジェネレーター (ADSR) によるモジュレーションを選択します。

### パルス・ウィズ・モジュレーション・ソース・スイッチ

.....[LFO , ADSR  ]

パルス・ウィズ・モジュレーション (パルス幅変調) を行うソースを選択します。


## VCO-2 セクション



### FREQUENCY COARSE スライダー (グリーン)

.....[20(0.2)Hz...2K(20)Hz]

ピッチをおおまかに調整します。20Hz～2KHzの範囲で調整可能です。  
SYNC スイッチがオンのときは、ピッチではなく倍音構成が変化します。

 周波数範囲 (20Hz～2KHz) はおおよその数値です。

### FREQUENCY FINE スライダー (グリーン)

..... [±400cent]

ピッチを微調整します。

SYNC スイッチがオンのときはピッチではなく、倍音構成が変化します。

### SYNC スイッチ

..... [OFF, ON]

SYNC のオンまたはオフを選択します。

オフにすると、デュオフォニック演奏が可能になります。オンにすると、VCO-2 は VCO-1 の発信周波数 (ピッチ) で同期します。

### FM デプス・スライダー (ピンク)

### FM デプス・スライダー (イエロー)

FM (フリークエンシー・モジュレーション：周波数変調) をかけたときの深さを調節します。

### PULSE WIDTH (WIDTH) スライダー (ブルー)

..... [50%...MIN]

パルス幅を調節します。

### PULSE WIDTH (MOD) スライダー (ピンク)

パルス・ウィズ・モジュレーション (パルス幅変調) のかかり具合を調節します。

### FM ソース・スイッチ

.....[LFO , S/H MIXER]

LFO のサイン波によるモジュレーション、または S/H MIXER (サンプル・アンド・ホールド・ミキサー) によるモジュレーションを選択します。

FM ソース・スイッチ

.....[S/H, ADSR ]

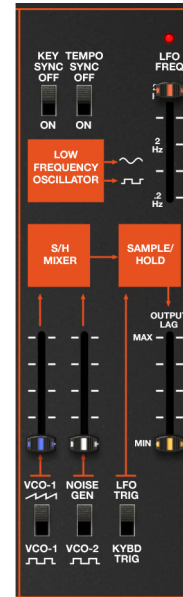
サンプル・アンド・ホールドまたはエンベロープ・ジェネレーター (ADSR) によるモジュレーションを選択します。

パルス・ウィズ・モジュレーション・ソース・スイッチ

.....[LFO , ADSR ]

パルス・ウィズ・モジュレーション (パルス幅変調) を行うソースを選択します。

## LFO、S/H MIXER、SAMPLE AND HOLD セクション



LFO KEY SYNC スイッチ

.....[OFF, ON]

ON に設定すると、鍵盤を弾くたびに LFO がスタートし、ノートごとに独立した LFO が動作します。OFF のときは後から弾いたノートにも最初に弾いた

鍵盤によってスタートした LFO がかかります。

### LFO TEMPO SYNC スイッチ

..... [OFF, ON]  
LFO をテンポ (MIDI クロック) に同期させるかどうかをオン、オフで設定します。

### LFO FREQ (LFO スピード) スライダー (ピンク)

..... [0.2Hz...20Hz]  
LFO のスピードを調節します。  
スライダーを上げていくと速くなります。

### S/H インプット・レベル・スライダー (ブルー)

VCO-1 からの波形出力を S/H MIXER に送るときの入力レベルを調節します。

### S/H インプット・レベル・スライダー (ホワイト)

ノイズまたは VCO-2 の矩形波を S/H MIXER に送るときの入力レベルを調節します。


### S/H OUTPUT LAG スライダー (イエロー)

S/H の出力電圧の段差をなめらかにします。  
スライダーを “MAX” の位置に近づけていくと、段差のなめらかさが強くなります。

### S/H インプット・ソース・スイッチ

..... [VCO-1 , VCO-1 S/H MIXER に入力するソース (VCO-1 の波形) を選択します。

### S/H インプット・ソース・スイッチ

..... [NOISE GEN, VCO-2 S/H MIXER に入力するソース (ノイズまたは VCO-2 の矩形波) を選択します。

### S/H トリガー・ソース・スイッチ

..... [LFO TRIG, KYBD TRIG]  
S/H MIXER から送られてきたオーディオ信号を検出する際に、トリガーとなる信号 (LFO からの出力信号または鍵盤を押したときの出力) を選択します。

## AUDIO MIXER、VCF、HPF、VCA セクション



### VCF FREQ スライダー (ブラック)

..... [16Hz...16KHz]

LPF (ロー・パス・フィルター) のかかり方を調節します。

スライダーを一番下 (16Hz) にすると入力信号の高域がカットされ柔らかい音になります。スライダーを上げていくほど固い音になります。

### VCF RESONANCE スライダー (ブラック)

..... [MIN...SELF OSC]

レゾナンスを調節します。

倍音成分のカットオフ・ポイントの周波数を強調し音色変化を得ます。スライダーを上げていくと、あるポイントから自己発振 (VCF 自身が音を発する現象) します。

### VCF TYPE スイッチ

..... [I, II, III]

VCF のタイプを選択します。

**I** : ODYSSEY Rev.1

**II** : ODYSSEY Rev.2

**III** : ODYSSEY Rev.3

### HPF CUTOFF FREQ スライダー (ブラック)

..... [16Hz...16KHz]

HPF (ハイ・パス・フィルター) のかかり方を調節します。

スライダーを上げていくと、入力信号の低域がカットされ細かい音になります。特定の楽器音をシミュレートする際などに便利です。

### DRIVE GAIN スライダー (ブラック)

..... [ 0.00...10.00]

VCA のひずみ具合を調節します。

### NOISE/RING MOD スライダー (ホワイト)

ノイズ・ジェネレーターまたはリング・モジュレーターから送られてくるオーディオ信号のレベルを調節します。

### VCO-1 ボリューム・スライダー (ブルー)

VCO-1 から送られてくるオーディオ信号のレベルを調節します。



**VCO-2 ボリューム・スライダー (グリーン)**

VCO-2 から送られてくるオーディオ信号のレベルを調節します。

**フィルター・モジュレーション・レベル・スライダー (ブラック)**

VCF FREQ をコントロールする信号のレベルの調節、または S/H MIXER から送られてくる信号を使ってフィルター開閉の調節をします。

**フィルター・モジュレーション・レベル・スライダー (イエロー)**

S/H (サンプル・アンド・ホールド) または LFO を使ってフィルターを開閉する場合に調節します。

**フィルター・モジュレーション・レベル・スライダー (ピンク)**

2つあるエンベロープ・ジェネレーター (AR, ADSR) を使ってフィルターを動かす場合に調節します。


**VCA レベル・スライダー (レッド)**

VCA をエンベロープ・ジェネレーター (ADSR, AR) でコントロールするレベルを調節します。実質、本機のマスター・ボリュームに相当します。DRIVE スイッチが ON のときは VCA の歪みも調節します。

**フィルター入カソース (NOISE, RING MOD) スイッチ**

.....[NOISE, RING MOD]  
ノイズまたはリング・モジュレーターを選択します。

**フィルター入カソース (VCO-1 波形) スイッチ**

.....[VCO-1 VCO-1 の波形 (ノコギリ波、矩形波) を選択します。矩形波を選んだ場合にパルス・ウィズ・スライダー (13 ページ) を上げると、矩形波からパルス波に変化します。

**フィルター入カソース (VCO-2 波形) スイッチ**


.....[VCO-2 VCO-2 の波形 (ノコギリ波、矩形波) を選択します。

矩形波を選んだ場合にパルス・ウィズ・スライダー (13 ページ) を上げると、矩形波からパルス波に変化します。



**フィルター・モジュレーション・ソース (KYBD CV, S/H MIXER) スイッチ**

..... [KYBD CV, S/H MIXER]  
フィルターをコントロールするソースを選択します。KYBD CV (キーボード・コントロール・ポルテージ) を選ぶと、通常、鍵盤から VCO へ送るキー情報を伝える信号をフィルターの開閉に使うことが可能になります。例えば、音程の高い音になるにつれてフィルターが開く効果が得られます。S/H MIXER を選ぶと、S/H MIXER から送られてくる信号でフィルターを開閉します。

**フィルター・モジュレーション・ソース (S/H, LFO) スイッチ**

..... [S/H, LFO フィルターをコントロールするソースを選択します。LFO でフィルターを動かすとワウ効果が得られます。

**フィルター・モジュレーション・ソース (ADSR, AR) スイッチ**



.....[ADSR , AR フィルターをコントロールするエンベロープ・ジェネレーターを選択します。

**VEL スイッチ**

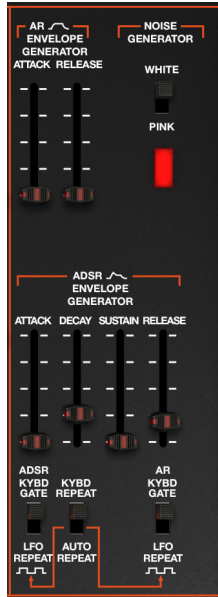
.....[VCA, VCF]  
ベロシティによる VCA/VCF の変化の深さを設定します。

 MIDI キーボードを接続した場合のみ有効になります。

**VCA EG スイッチ**

.....[AR , ADSR VCA をコントロールするエンベロープ・ジェネレーターを選択します。

## ENVELOPE GENERATOR セクション



### AR EG - ATTACK スライダー (レッド)

AR エンベロープ・ジェネレーターのアタック・タイムを調節します。

### AR EG - RELEASE スライダー (レッド)

AR エンベロープ・ジェネレーターのリリース・タイムを調節します。

### NOISE GENERATOR スイッチ

..... [WHITE, PINK]

ホワイト・ノイズまたはピンク・ノイズを選択します。

### ADSR EG - ATTACK スライダー (レッド)

ADSR EG のアタック・タイムを調節します。

### ADSR EG - DECAY スライダー (レッド)

ADSR EG のディケイ・タイムを調節します。

### ADSR EG - SUSTAIN スライダー (レッド)

ADSR EG のサステイン・タイムを調節します。

### ADSR EG - RELEASE スライダー (レッド)

ADSR EG のリリース・タイムを調節します。

### ADSR トリガー・ソース・スイッチ

..... [KYBD GATE, LFO REPEAT]

ADSR エンベロープ・ジェネレーターに送るトリガーを選択します。

KYBD GATE を選んだ場合は、鍵盤から送られてくるトリガーを EG に送ります。FO REPEAT を選んだ場合は、LFO のパルス波を EG に送り、LFO FREQ の速さに合わせて EG が周期的にエンベロープを繰り返します。

### ADSR リピート・スイッチ

..... [KYBD REPEAT, AUTO REPEAT]

ADSR または AR トリガー・ソース・スイッチで LFO REPEAT を選択している場合に有効になります。

KYBD REPEAT を選んだ場合は、EG へ繰り返し送られている LFO のトリガーが鍵盤を押している間だけリピートします。AUTO REPEAT を選んだ場合は、鍵盤のオン/オフ関係なくリピートし続けます。

### AR トリガー・ソース・スイッチ

..... [KYBD GATE, LFO REPEAT]

AR エンベロープ・ジェネレーターに送るトリガーを選択します。

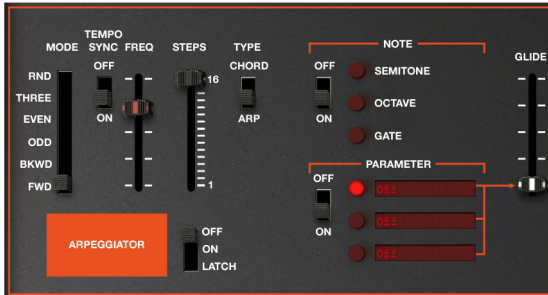
動作は ADSR トリガー・スイッチと同じです。

# アルペジエーター / エフェクター・ページ

The screenshot displays the 'Arpeggiator / エフェクター・ページ' (Arpeggiator / Effects Page) of a synthesizer. The interface is organized into several functional sections:

- Top Bar:** Includes utility icons (gear, info, bag, download), a preset name 'Factory Authentic Lead', and navigation arrows.
- Arpeggiator Section:**
  - Tempo:** Controls for MODE, SYNC, and FREQ.
  - Steps:** A vertical slider for the number of steps (1 to 16).
  - Type:** Controls for CHORD and ARP.
  - Note:** Radio buttons for SEMITONE, OCTAVE, and GATE.
  - Parameter:** Three red sliders for parameter modulation.
  - Arpeggiator:** A large orange button to enable the arpeggiator.
  - LATCH:** A toggle switch for latching notes.
- 16-step Arpeggiator:** A row of 16 sliders, each with a colored knob (1-16) and a 'GLIDE' control below it.
- Distortion:** Sliders for TYPE (I, II, III), DRIVE, TONE, and MIX. Includes a 'DISTORTION' button and an ON/OFF toggle.
- Phaser:** Sliders for MANUAL, DEPTH, FREQ, and RESONANCE. Includes a 'PHASER' button and an ON/OFF toggle.
- Chorus/Flanger/Ensemble:** Sliders for TYPE (CHO, FLA, ENS), DEPTH, FREQ, and MIX. Includes a 'CHORUS FLANGER ENSEMBLE' button and an ON/OFF toggle.
- EQ:** Sliders for LO GAIN, MID FREQ (4 kHz), MID GAIN, and HI GAIN. Includes an 'EQ' button and an ON/OFF toggle.
- Delay:** Sliders for TEMPO SYNC, FEED BACK, TIME LEFT, TIME RIGHT, and LEVEL. Includes a 'DELAY' button and an ON/OFF toggle.
- Reverb:** Sliders for TYPE (HALL, ROOM, PLATE, APOLLO), TIME, TONE, MIX, and LEVEL. Includes a 'REVERB' button and an ON/OFF toggle.
- Master:** A single 'LEVEL' slider and a 'MASTER' button.

## アルペジエーター



### MODE スイッチ

アルペジエーター再生時のステップの進行のしかたを設定します。

**RND**：ランダムにステップを再生します。

**THREE**：3 ステップごとに再生します。

**EVEN**：偶数ステップを再生します。

**ODD**：奇数ステップを再生します。

**BKWD**：右から左方向に進みます。

**FWD**：左から右方向に進みます。

### TEMPO SYNC スイッチ

..... [OFF, ON]

アルペジエーターをテンポ (MIDI クロック) に同期させるかどうかをオン、オフで設定します。

### FREQ スライダー

..... [0...127, 1/8...1/64]

再生する速度を設定します。

TEMPO SYNC スイッチを ON に設定したときは、MIDI クロックに同期したテンポの周期を設定します。

### STEPS スライダー

..... [1...16]

ループするステップ数を設定します。

### TYPE スイッチ

..... [CHORD, ARP]

ステップごとに単音で発音するか和音で発音するかを設定します。

**CHORD**：鍵盤を複数押した音をステップごとに和音で発音します。

**ARP**：鍵盤を押した音をアルペジオで発音します。

### ARPEGGIATOR スイッチ

..... [OFF, ON, LATCH]

アルペジエーターのオン、オフを設定します。

LATCH を選ぶと、ノート・オフしてもアルペジエーターによる演奏を続けます。

### NOTE スイッチ

音程などをコントロールするチャンネルに切り替えます。

**SEMITONE**：音程をコントロールします。

**OCTAVE**：音程を 1 オクターブ刻みでコントロールします。

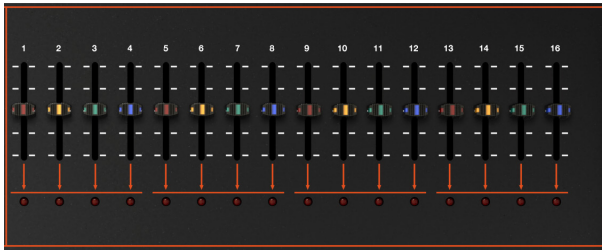
**GATE**：音の長さをコントロールします。

### PARAMETER スイッチ

3つのチャンネルにパラメーターを割り当てて、選んだパラメーターをコントロールします。

### GLIDE スライダー

PARAMETER スイッチで割り当てた効果が移行する時間を設定します。



**ステップ・スライダー 1～16**

.....[1...16]

各ステップの値を設定します。

## エフェクター

### DISTORTION



3 タイプの歪みが選べるディストーション・エフェクトです。

#### TYPE スイッチ

エフェクトのタイプを設定します。

#### DRIVE スライダー (ブルー)

歪み回路の入力レベルを調節することで、歪みの効き具合を調節します。

#### TONE スライダー (イエロー)

音色を調節します。

#### MIX スライダー (レッド)

エフェクト音とダイレクト音のミックス・レベルを調節します。

#### ON/OFF スイッチ

このエフェクトを使うときは ON にします。

### PHASER



位相を周期的に変化させた音を原音に混ぜ合わせるによって、音にうねりを与えます。

#### MANUAL スライダー (ホワイト)

効果のかかる周波数を調節します。

#### DEPTH スライダー (イエロー)

効果の深さを調節します。

#### FREQ スライダー (グリーン)

うねりのスピードを調節します。

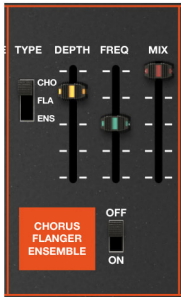
#### RESONANCE スライダー (レッド)

レゾナンス量を調節します。

#### ON/OFF スイッチ

このエフェクトを使うときは ON にします。

## CHORUS/FLANGER/ENSEMBLE



音、ピッチを揺らした信号と、原音と混ぜ合わせることで音にうねりや広がり、ビブラート感を与えます。

### TYPE スイッチ

エフェクトのタイプを設定します。

### DEPTH スライダー (イエロー)

効果の深さを調節します。

### FREQ スライダー (グリーン)

うねりのスピードを調節します。

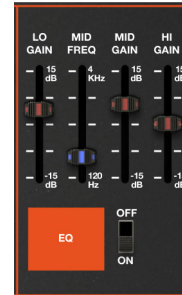
### MIX スライダー (レッド)

エフェクト音とダイレクト音のミックス・レベルを調節します。

### ON/OFF スイッチ

このエフェクトを使うときは ON にします。

## EQ



低音、中音、高音のレベルを増減します。

### LO GAIN スライダー (レッド)

低音を調節します。

### MID FREQ スライダー (ブルー)

中音域の周波数帯を設定します。

### MID GAIN スライダー (レッド)

中音を調節します。

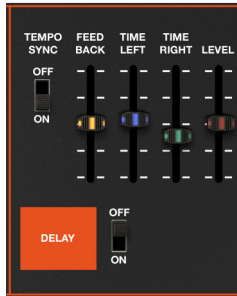
### HI GAIN スライダー (レッド)

高音を調節します。

### ON/OFF スイッチ

このエフェクトを使うときは ON にします。

## DELAY



音を時間的に遅らせて聞こえるようにするエフェクトです。

### TEMPO SYNC スイッチ

ディレイ・タイムをテンポに同期させるかどうかをオン、オフで設定します。

### FEED BACK スライダー (イエロー)

フィードバック量を調節します。

### TIME LEFT スライダー (ブルー)

左チャンネルのディレイ・タイムを調節します。

### TIME RIGHT スライダー (グリーン)

右チャンネルのディレイ・タイムを調節します。

### LEVEL スライダー (レッド)

エフェクト音のレベルを調節します。

### ON/OFF スイッチ

このエフェクトを使うときは ON にします。

## REVERB



反響音を加えて残響や臨場感をシミュレートします。

### TYPE スイッチ

エフェクトのタイプを設定します。

### TIME スライダー (グリーン)

残響の時間を調節します。

### TONE スライダー (イエロー)

リバーブ音の明るさを調節します。

### MIX スライダー (レッド)

エフェクト音とダイレクト音のミックス・レベルを調節します。

### ON/OFF スイッチ

このエフェクトを使うときは ON にします。

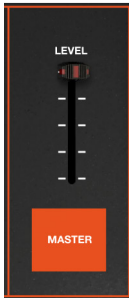


## マスター・レベル

### MASTER

ARP ODYSSEi の出力レベルを設定します。

**LEVEL スライダー (レッド)**  
全体の音量を調節します。



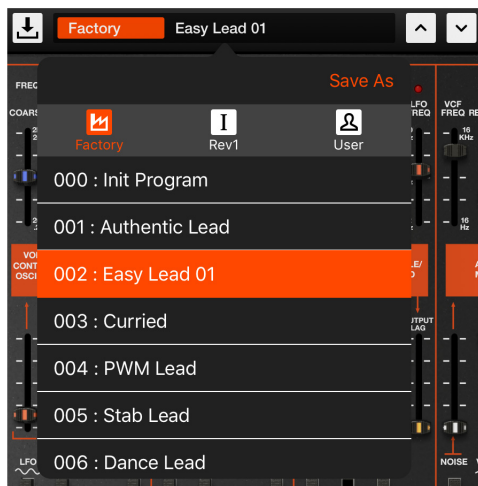
# データのセーブ、ロード

## 内部メモリーへのセーブ

エディットしたプログラムを ARP ODYSSEi の内部メモリーにセーブ（保存）することができます。

▲ プログラムは、セーブせずにアプリケーションを終了すると消えてしまいます。プログラムを残しておきたいときは、保存を実行してください。

プログラム・ネームをタップして表示されるウィンドウからコマンドを選択します。



**フォルダ**：フォルダを選択します。

ストアから Rev.1、Rev.2 のスキン、プリセット・プログラムを購入した場合は、ここでそれぞれのフォルダを選び、プログラムを選択するとパネルのスキンが変更されます。

**プログラム・リスト**：選んだフォルダ内のプログラムを表示します。

**Save**：上書き保存します。

**Save As**：別名で保存します。入力した名前でも新規にプログラムが作成されます。

## 内部メモリーからのロード

プログラム・ネームをタップして表示されたウィンドウのプログラム・リストから、読み込みたいプログラムをタップします。

# おもな仕様

## ARP ODYSSEi

- ・ 最大同時発音数：8音（iPad のモデルに依存します）
- ・ パート数：1
- ・ 音色数：プリセット：250種類（アプリ内課金コンテンツを含む）
- ・ エフェクト：6種類

※ 製品の仕様、外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

# サポート・サービスのご案内

## ご連絡の際に必要な情報

ご連絡の際、以下の情報が必要になります。これらの情報が確認できない場合、サポート・サービスをご提供できませんので、必ずご提示ください。


- お名前
- 製品名とバージョン（iOS の「設定」から確認できます。）
- ご使用のデバイス名
- OS のバージョン
- ご質問内容（できるだけ詳細にお書きください）

## ご連絡の前に

- ご連絡の前に、本マニュアルまたは KORG app Help Center にご質問内容に対する回答がないかご確認ください。
- デバイスの基本的な操作方法、一般的な曲や音色の作成方法など、当社製品以外に関するご質問については、お答えできませんのであらかじめご了承ください。

## お客様相談窓口

- E メールでのお問い合わせ：techsupport@korg.co.jp
- 電話でのお問い合わせ

 **0570-666-569**  
ナビダイヤル®

PHS 等一部の電話ではご利用できません。固定電話または携帯電話からおかけください。

- 受付時間 月曜～金曜 10:00 ～ 17:00（祝祭日、窓口休業日を除く）
- 電話でのお問い合わせの際には、ご質問の製品が操作できる環境をご用意ください。
- ご質問の内容やお客様の使用環境によって生じる問題などについては、回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

## 株式会社コルグ

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

© 2016 KORG INC.